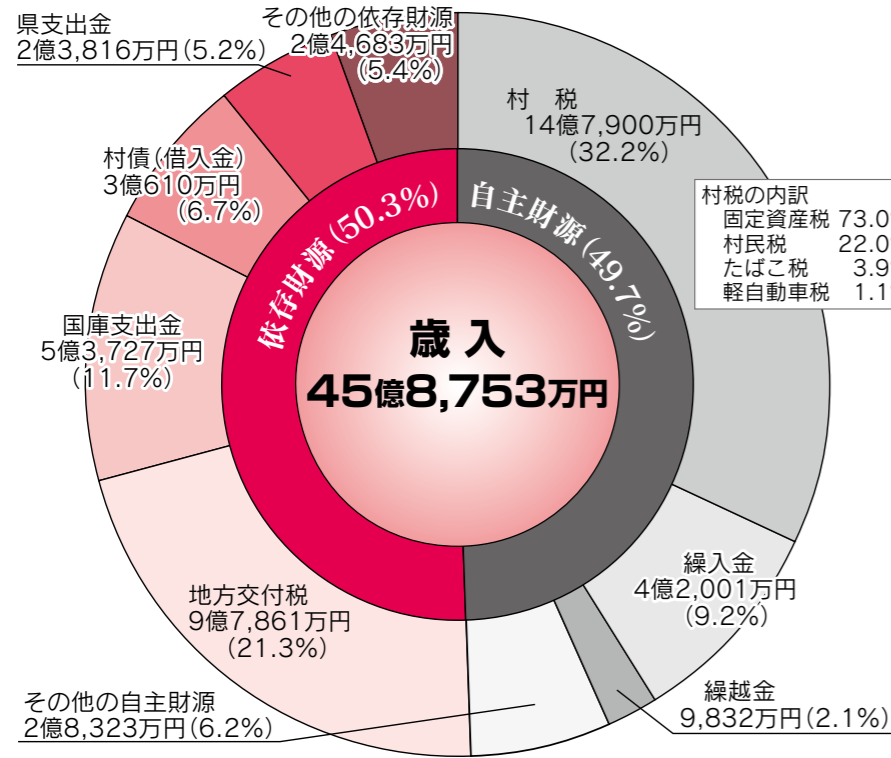


(賛成10、反対3)

復旧に1億7,234万円

一般会計歳出
43億3,869万円
(前年度比0.1%増)



歳入 (財源)

<自主財源>

村が自主的に調達できるお金
地方税や手数料、寄付金など
使いみちが自由に決められる
自主財源が多いほど、行政活動の
自主性・安定性が高いとされる

<依存財源>

国や県、借入金などに頼ったお金
使いみちには制限がある
今年は地方交付税が前年比14.4%増
となっている。



中学校太陽光発電設備

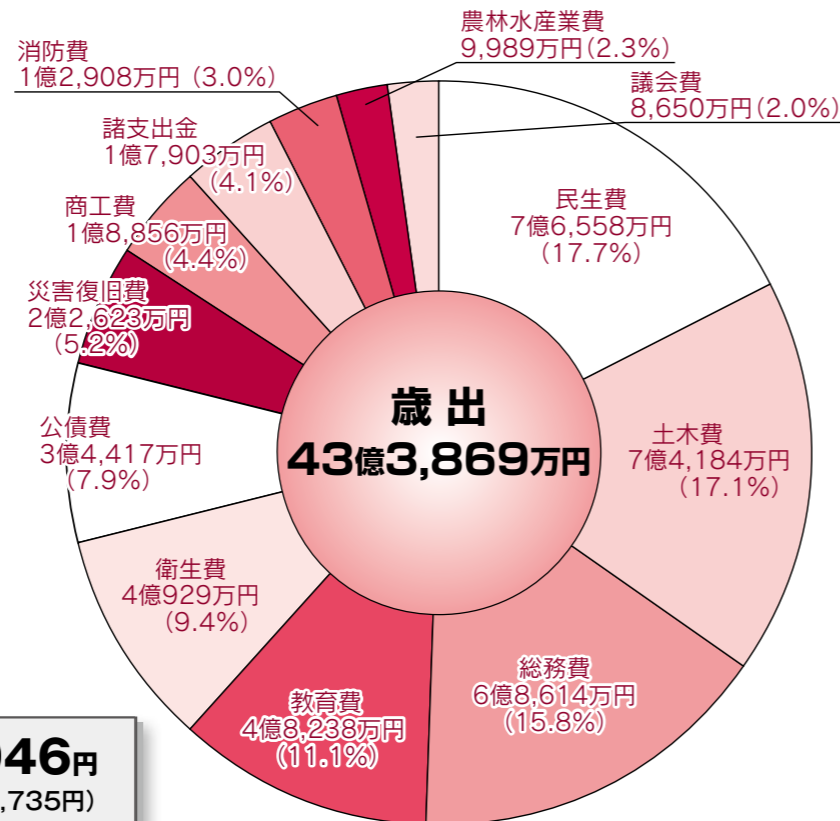


とさわ台集会所

歳出 (使いみち)

◆ 主な実施事業 ◆

- ・プレミアム付商品券発行事業
..... 2,774万円
- ・塩浪地区住宅団地整備事業
..... 6,969万円
- ・小中学校太陽光発電設備導入事業
..... 5,792万円
- ・村道路線改良舗装事業
..... 1億8,079万円



各種会計別決算認定状況

会計別	歳入決算額	歳出決算額	結果	採決	
特別会計	国民健康保険	6億3,542万円	5億9,942万円	認定	賛成12、反対1
	下水道	2億8,604万円	2億7,845万円	認定	賛成13、反対0
	介護保険	5億2,105万円	4億9,458万円	認定	賛成13、反対0
	戸別合併処理浄化槽	4,535万円	4,383万円	認定	賛成13、反対0
	後期高齢者医療	4,728万円	4,653万円	認定	賛成13、反対0
	宅地造成	1億9,080万円	1億8,516万円	認定	賛成13、反対0
水道会計	収益的収支(税込)	2億4,605万円	2億4,414万円	認定	賛成13、反対0
	資本的収支(税込)	104万円	1,538万円		

あらまし
平成28年第3回定例会は、9月7日から15日までの9日間
にわたって開かれました。
副村長の選任同意1件、教育委員の任命同意1件、条例の
改正2件、規約の変更8件、村道路線の変更1件、平成28年

度各種会計補正予算7件、平成27年度各種会計決算認定8件
の全28議案が村長より提出され、全て原案のとおり可決され
ました。そのほか健全化判断比率並びに資金不足比率の状況
について1件報告されました。
一般質問は7人の議員が行いました。10Pから16Pに掲載
しております。

平成27年度 決算を 厳しく審査



委員長 佐々木金彌

平成27年度各種会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会（委員長 佐々木金彌・副委員長 早坂豊弘）が6日間にわたり開かれました。

特別委員会では、各課長などに質疑を行い、慎重審議した結果、「認定すべき」と決定し、15日の本会議で議長に報告しました。

○ 主な質疑 ○

消防団の活動

平成27年度の団員数、OB 団員数、火災発生件数は、**総** 団員153名、OB 団員50名、火災は8件発生した。

OB 団員が前線に立たざるを得ない事がある。OB 団員の訓練は、**総** 本来は後方支援が原則だが、ポンプ操作の訓練等が可能か検討する。

防災・災害対策

各地区へ配備した防災用品の詳細は、**総** 夜間活動の安全向上のため、ヘルメットと反射チョッキ10セットを各地区に配備した。

村の備蓄品の状況は、**総** 任入りパン2700缶、アルファ米540食、十分な量とは言えない。毛布等の生活用品も含め、年次的に拡充したい。

ふるさと寄附金

27年度の寄附件数と、今までの累計は、**企** 27年度は9件69万円、累計では80件1376万円が寄附された。

謝礼品の詳細は、**企** 寄附額に合わせて万葉美人のセットを贈っている。

どんなむらづくりを使うかをPRすべきでは、**企** 寄附を募る上でのPRの充実を検討する。

役場庁舎LED化事業

照明のLED化による電気料の削減効果は、**企** 電気料は以前から約4割減、計算上は32年頃に削減経費で施工費を回収できる見込み。

奨学資金の滞納

奨学資金の滞納額は、**教** 27年度で38万円増加し、総額で230万円となった。

中学校講堂改修

改修工事と時期が重なったため、講堂で卒業式ができなかった。この工期になった理由は、**教** 県から天井改修の指導が入ったこと、国の補助が27年度中に終了することが主な理由である。

工期を早める等の対応はできなかったのか、**教** 学校や事業者と協議したが、行事等での使用もあって出来なかった。

ときわ台運動広場

こども園グラウンドに隣接している多目的運動広場は、境界もあいまいで地区住民への貸し出しは難しい。こども園に管理を委託しては、**教** こども園と協議し、今後について検討する。

文化財の保護・継承

有形無形の文化財を次世代へ伝える取組みは、**教** 文化財保護委員会の意見を聞きつつ、大衡村の名所旧跡を記した大衡村マップを作成したい。

大瓜神楽保存会への補助金に変更はないのか、**教** 27年度までは10万円だったが、音響設備更新等のため28年度は15万円とした。



小学生による大瓜神楽



消防ポンプ操法

回答者	表記
総務課長	総務課長
企画財政課長	企画財政課長
住民生活課長	住民生活課長
税務課長	税務課長
健康福祉課長	健康福祉課長
産業振興課長	産業振興課長
都市建設課長	都市建設課長
教育学習課長	教育学習課長
監査委員	監査委員
会計管理者	会計管理者

総括質疑

2名の委員が登壇

○ 主な質疑 ○

定住促進補助金

補助金を交付された世帯の傾向は、**都** 7割が村外からの転入者である。村内建築業者建築加算を受けたのは22%だった。

都 40歳未満の若者世帯への追加交付は続けるか。
20万円の追加補助を継続する。

補助制度を始めてからの実績は、**都** 22年度以来、累計で1億1470万円を交付、人口は約400名増加した。

補助金	対象	補助額
基本	新築住宅取得	住宅を新築する世帯 50万円
加算補助	新規転入世帯加算	村内に転入して1年未満で2年以上村外に居住していた世帯 30万円
	村内建築業者建築加算	村内指定業者を元請として住宅を新築する世帯 50万円
	若者世帯加算	申請者かその配偶者が40歳未満の世帯 20万円



災害復旧中の農地（衡東地区）

イノシシ被害と対策

27年度のイノシシによる被害状況は、**産** 主に西部地区から、タケノコ等の食害や水田の破壊等が11件報告されている。

イノシシ除け電気柵購入に助成はないか。
産 資材費を助成する国の制度があるが、個人は対象外なので地域等で協議会を作る必要がある。

土砂災害の状況は

関東・東北豪雨において、村が単独で実施した農業用施設の災害復旧支援事業の件数は、**産** 交付要綱を激甚災害の場合には80%助成に改正し、96件を交付決定した。

村に土砂災害危険区域はどれほどあるのか。
都 崖崩れ60ヶ所、土石流8ヶ所の計68ヶ所の危険箇所があり、内61ヶ所が県から土砂災害警戒区域に指定されている。

松くい虫の被害対策

松くい虫対策費用の内訳を、**産** 県補助478万円を含む1522万円を投入し、村内各地で伐倒と樹幹注入を行っている。

約1千万円の村の財源を使用しているが、コスト削減は出来ないか。
産 小型ヘリコプターでの殺虫剤空中散布等を検討していく。

大衡村の農業を考える会への認識を質す

山路 澄雄委員
平成27年度に実施された、各地区を巡回しての「大衡村の農業を考える会」。農業者と直に膝を交えての懇談会は、悩みや要望を聞き取る良い機会であったのに、村長も副村長も各地区に一度も出席しなかった。これからの農業問題に立ち向かう、大衡村のトップリーダーとして認識が甘いのではないか。

村長
26年度の「考える会」は議員、農業委員、認定農業者を対象としたが、27年度は規模の大小を問わず、広く全農家の意見を聞く事とした。
村長・副村長が出席することで質問・意見・要望への答弁を直接求められたり、参加者が委縮して自由に発言できないのではよくないと考え、出席しないこととした。

山路 澄雄委員
農業を取り巻く情勢は厳しく、大衡村では条件が悪いので、大豆や麦に転換するのも容易ではなく、新規の農業機械の導入も大変である。
村のトップが現場に向き話し合い、新しい農業の形を探っていくべきである。

スクールバス運転業務委託契約の事務処理に不備はなかったのか

小川 宗寿委員
業務委託契約先の法人代表の役職名が、見積書と契約書で異なっているが問題ではないか。

小川 宗寿委員
スクールバスの運行日誌に記載漏れが多くあった。委託業務の運行実態を把握できているのか。

村長
法人の記入誤りに気付かず契約してしまった。
今後は書類のチェックを徹底する。

村長
委託業者へ強く指導するとともに、職員にも報告書のチェックを的確に行うよう指導する。

教育委員会の引継ぎに問題はなかったか

小川 宗寿委員
今回の審議で教育委員会は答弁に滞る場面が多く見られたが、引継ぎは万全か。

村長
今後は答弁が滞ることのないよう指導する。

教育長
議会の進行を妨げてしまった。今後はこのようにならないようにする。

一般会計採決 賛成9・反対3

認定すべきと決定

特別会計7会計も認定すべきと決定

一般質問

7人の議員が登壇

質問者一覧表

質問者	質問事項	ページ
小川 宗寿	○体育施設開館時間を繰り上げられないか ○他町の体育施設利用料金の減免措置を	10
石川 敏	○子育て支援策の拡充を	11
早坂 豊弘	○学力向上と部活動の活性化について ○ため池看板設置の今後は	12
齋藤 一郎	○第三セクターは設立時の趣旨に立ち返るべき ○農業振興策を積極的に	13
小川ひろみ	○旧幼稚園舎の今後の活用法は ○若い力を地域づくりに	14
山路 澄雄	○演習場周辺対策事業の取り組み充実を	15
高橋 浩之	○大衡村男女共同参画の取り組みについて	16

会議録は議会事務局・ホームページで閲覧できます。

◇一般質問とは

定例会ごとに、村長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねること、あるいは報告や説明を求めることを言います。

平成28年度
補正予算

一般会計ほか6会計を補正

塩浪団地関連工事に9,300万円



塩浪住宅団地造成工事

○主な質疑

塩浪団地関連工事

塩浪団地の関連工事が前倒しになった理由は、**都** 特定防衛施設周辺整備調整交付金を追加する内示があったためである。

本工事が遅れているが、関連工事の着工は、**都** 予算は計上するが、着工は基本的に本工事終了後になる。ただし、段階的に完了している部分は検査に着手する。

小中学校の松の伐採

松くい虫の伐倒駆除後、学校の景観を維持するため、植林を行わないのか。**都** 現地調査等を行い、検討する。

非常時消防消耗品

消防消耗品の詳細は、**総** 補助事業を活用して防火衣23セットを購入、一般財源対応で編み上げ靴160足を更新し、各分団に配布する。

鳥獣被害対策実施隊

実施隊の報酬5万7千円の詳細は、**産** 10月1日から21名体制で発足する実施隊の半分の報酬である。

狩猟免許取得補助金7万円については、**産** 当初15名分の予算を置いていたが、わなと銃の免許取得希望者が1名ずつ増えたため、補正する。

大鮎用排水路整備

今回設計業務を委託する工事の概要、工程は、**産** 奥田大鮎ため池から荒屋敷川までの720mを整備していく。
今年度実施設計、29年度に用地買収、32年度までに工事完了の予定である。

会計別	補正額	予算額	
一般会計	1億9,979万円	43億8,917万円	
特別会計	国民健康保険	599万円	6億4,680万円
	下水道	予算の組替	3億4,550万円
	介護保険	2,903万円	5億3,103万円
	戸別合併処理浄化槽	予算の組替	4,190万円
	後期高齢者医療	75万円	4,989万円
	宅地造成	142万円	5,402万円

◆追加の主なもの◆

- 塩浪地区街区公園・緩衝緑地整備 5,900万円
- 道路新設改良費（3路線）..... 3,880万円
- 大鮎用排水路整備事業 2,185万円
- 全農物流株式会社への企業立地奨励金 1,234万円
- 非常備消防消耗品 217万円



小川 宗寿 議員

体育施設開館時間を 繰り上げられないか 各方面と協議していく

議員

現在、体育館の使用時間は午後6時から9時までと定められている。

開館時間を繰り上げれば、利用者は早くから準備ができ、効率的に練習ができる。開館時間の繰り上げは可能か。

村長

スポーツ少年団が村体育施設を使用する際は、保護者が管理監督として立ち会う事が原則である。現状での時間繰り上げは、保護者の対応が困難であると聞いている。

議員

2年ほど前から、体育館の利用時間を繰り上げて欲しいと利用者から要望があったようだが、公民館等の管理体制などに問題はなかったのか。

教育学習課長

時間を繰り上げて欲しいとの要望は一切来ていない。要望があれば、微調整を検討する。

村長

各方面と協議し、柔軟に対応していきたい。



ドッジボールスポーツ少年団活動（小学校体育館）

議員

現役世代が仕事帰りなどに行う体力づくりは、生活習慣病の予防など医療費軽減につながる。専門器具の充実した近隣市町の公共体育施設を村民が利用する際、料金の助成はできないか。

村長

村民体育館等を開放しているが、利用者が集中して不便といったことはほばないため、村内の施設を利用してほしい。村にも専門器具の充実した施設があればという企業からの意見はある。

議員

費用対効果を考えれば、施設を作るより共同利用したほうが良いのでは。

村長

施設ができるか、助成が可能か、精査し検討していきたい。

こんな質問もしました

Q 村内中小企業への資金融資の対象枠を拡大できないか。

A 慎重な検討が必要。



石川 敏 議員

子育て支援策の拡充を 出産祝金制度等も検討する



小学校給食のようす

議員

村では「子育て日本一の村」を目指して、子育て支援券、子どもの医療費助成、保育園・幼稚園の負担軽減、学校給食費の減免、奨学資金の貸与などの支援策をしているが、年齢に応じた体系的な支援制度として拡充すべきではないか。

村長

今後は、これまでの方策を整理精査し、庁内に子育て支援事業検討委員会を立ち上げ、新たな視点で総合的に検討し、「出産祝金制度」等の支援策の充実に図っていく。

議員

各種の子育て支援策に、村ではどのくらいの経費を要しているのか。

村長

平成27年度決算では、子育て支援券に約250万円、認定こども園保護者負担軽減が2180万円、医療費助成に2840万円、給食費減免が720万円、奨学資金貸与が372万円等であり、村負担の合計額は約6500万円である。

議員

給食費は、子どもの人数により減免割合が10%から100%となっているが、公平性がとれているのか。また、保護者の申請手続きも簡素化できないか。

村長

現在、子どもの人数に応じた減免制度としているが、もっと分かり易く、シンプルな制度にできるか検討していく。

議員

奨学資金は、無利子の貸与だけでなく、学生を支援するためにも、返還を免除する給付型の奨学資金制度を新たに取入れる考えはないか。

村長

当面は現在の貸与制度としていくが、村として特定分野や人材育成のための支援策について今後検討していく。



早坂 豊弘 議員

学力向上と部活動の活性化について 教育委員会と学校が連携

議員 小中学校とも各学年ごとに学力格差が生じている。特に基礎学力に大きな差があるというが、今後、村は学力向上にどう取り組むのか。

村長 全国学力テスト等の結果を受け、常に教育委員会と学校が連携しながら、学習指導方法と授業内容を改善し、学力向上につながるよう指導していく。

議員 高校や専門学校への進学に向けた教育指導方針が大切では。

教育長 小中学校の校長会に高校の校長の出席も求めたいと考えている。しっかりと生活習慣を身につけさせ、その上で将来的な夢、志を持たせることが人材育成であり、学習の基本である。学力だけでなく「生きる力」を一緒に育てていく。

議員 中学校は、生徒数・教諭数ともに少ないため、部活動の選択肢も少ない。顧問を置けず、希望する競技の部活が無い現実、どう対応していくのか。

村長 2名の外部指導者を県から派遣してもらっている。この人数を増やせるかも含め、検討する。

議員 第三セクターは民間のノウハウを活かし、村直営事業の固定経費削減や行政のスリム化が目的だと思ふ。

村長 現在は民間会社の除草や除雪作業、最近では甘酒製造販売まで事業拡大している。

議員 指定管理者制度により公共施設等の管理運営委託した設立当時の趣旨で進めるべきだ。

村長 資本構成から半官半民の形態だが、運営方法は会社法に基づく株式会社であり、利潤によって経営が成り立つ運営をしている。

議員 万葉まちづくりセンターは民間会社だと言ってきたが、他の民間会社に村が出資していることがあるか。

村長 黒川森林組合と東北電力に対し出資している。

議員 村は、まちづくりセンター株式の65%を、税金を投入して保有している最大株主である。指導指針の作成・運用の実態は。

村長 総務省が策定した第三セクター等の経営健全化等に関する指針を準用しているが、村独自の指針を整備したい。

ため池看板設置の今後は

大和警察署等と連携して

注意喚起していく

議員 ため池事故防止策として看板を設置した。今後周知徹底は図れるか。更なる予防策は。

村長 看板の設置はもとより教育委員会・PTA・大和警察署・村が連携して注意喚起をしていく。



ため池事故防止看板

こんな質問もしました

Q イノシシ被害が増え続けている。その対策は。
A 鳥獣被害対策実施隊の動向を見ながら考える。

農業振興策を積極的に

関係機関と連携推進したい

議員 米価下落の影響で農家経営は厳しい状況にある。認定農家の育成や集落営農組織を本腰入れて地域に拡大する考えは。また、農業振興地域の見直しを図る考えはないか。

村長 高齢化や後継者不足解消に向け、JAあさひな等と連携し、集落営農組織を進めたい。約1350haが優良農地に指定されているが、本村農業の営農環境を守りながら、今後も適正に対処していく。



齋藤 一郎 議員

第三セクターを設立時の趣旨で進めるべき 村独自の指針を整備したい



まちづくりセンターによる草刈り



小川ひろみ 議員

旧幼稚園舎の 今後の活用法は 検討委員会を立ち上げる

議員 旧園舎は閉園後数年が経過し、老朽化が進んでいる。新たな活用法を考える時期だと思うが、今後の方針は。

村長 村民が、子どもから大人まで気軽に集える、コミュニティ活動・文化活動の向上に役立つ生涯学習拠点としての活用を考えている。地域住民、PTA、学校等から意見を伺い、方向性を早急に示したい。

議員 老朽化が進めば進むほど、改修には多額の費用が見込まれる。早急に、将来を見据えた効果的かつ効果的な活用をすべきである。

村長 村の教育財産にふさわしい活用のあり方を検討すべく、教育長を座長とした検討委員会の立ち上げを準備中である。



活用が待たれる旧幼稚園舎

若い力を地域づくりに 様々な世代と懇談する

議員 人口減少社会において、若者の定住化は必要不可欠である。若者が住みたいと思える地域をつくるため、若者自身が地域づくりに参画できるように、

小中高生や、子育て世代、女性の観点を聞く議会などを開催しては。

村長 様々な若い世代の意見を聞く会議や懇談会の実施を検討している。若い力を地域づくりに役立てたい。

議員 国の地方創生支援策を利用して、若者の斬新な考え方を活かした事業を行い、魅力ある大衡を発信すべきではないか。

村長 住みたくなる大衡を目指し、地方創生推進交付金等を利用して、子育て支援の充実等に取り組み、定住促進につなげたい。

企画財政課長

演習場の情報は、近隣区長など関係機関には開示したものの、チラシ等の毎戸配布はしなかった。

村長 王城寺原演習場は全域が国有地で、東富士演習場とは条件が違う。周辺対策事業については、大和・色麻両町と構成する王城寺原演習場周辺対策整備協議会に提起し、防衛当局と折衝が必要と考える。

議員 日米共同訓練（8月28日～9月10日）の詳細が村民に伝えられていない。沖縄駐留米海兵隊が参加し、実弾射撃演習の実施や、オスプレイが飛来するかも、という村民の生活に大きな影響を与える演習の情報が村民に開示されていないことは、非常に遺憾であり、村長の責任は重い。

※裾野市の演習場対策

騒音対策・水源枯渇防止・環境保全関連
調整池設置事業
緑地帯設置委託事業
防火帯の整備
・下刈り
・樹木の間伐
・植林
これには国だけでなく住民と自治体も参加する。

住宅防音工事関連

騒音測定エリア拡大要請
測定箇所の増設（4ヶ所、測定は防衛局が実施）
防音工事が終了した家屋の空調設備更新要請
防音工事終了エリア内の新築家屋への防音工事要請



経年劣化が進む空調設備

演習場周辺対策事業の 取り組み充実を 陳情運動を展開していく

議員 議会の視察研修で東富士演習場を抱える静岡県裾野市の現状を知ることが出来た。本村でも、河川や道路一本で防音工事が認められない現状に、多くの住民が納得していない。裾野市の演習場対策事業や取り組みを参考にし、演習場対策の施策を展開すべきと考える。



山路 澄雄 議員



経年劣化が進む空調設備

委員会視察研修報告

視察年月日：平成28年8月1日～2日

発行までのスピード化

岩手県 かねがさき 金ヶ崎町

○町の概要

人口約1万6千人、面積179.76km²。
基幹産業は農業だが、近年は自動車産業をはじめとする工業の誘致が進んでいる。

○編集の特色

住民参加型のページが多い。子供たちに将来どんな町になってほしいかを書いてもらう紙面を設けている。
定例会閉会中に議会と関連のあった話題を各ページ下に掲載する議会トピックスが好評。

一般質問原稿締切りは定例会最終日の翌日。
一般質問終了後音声データをCD化して渡し、議員が自分の質問の原稿を作成する。



編集委員は議長指名



岩手県 やはば 矢巾町

○町の概要

人口約2万8千人、面積67.32km²。
盛岡市のベッドタウンとして発展してきた。
岩手医科大学のキャンパスが移転中で、若者の人口が増加している。

○編集の特色

小学5年生が読んでもわかる言葉づかいを念頭に親しみやすく読みやすいものに。
最初の見開きを「もう一つの表紙」と捉え、特に留意して編集している。
委員は議長が指名する5名（一期生議員は必ず）が編集にあたる。
一般質問の答弁書は質問者本人のほか、質問終了後に広報編集委員にも配布される。

大衡村男女共同参画の 取り組みについて 条例を制定し体制を整える



高橋 浩之 議員

議員
国は平成11年に「男女共同参画法」を制定し、それに伴い全国の自治体においても推進基本計画を策定、実施する責務を有するとした。
本村も平成13年より、男女共同参画の活動を行っているが、中々その活動が見えてこない。
また平成28年度の当初予算も21000円と非常に低額であり、この点からも活動できるのかという問題がある。
執行部はこの「男女共同参画」の理念をどのように理解し、大衡村の取り組みを進めていくのか。

村長
国が公布施行した基本法により、地方自治体も基本計画を定めるよう努めなければならないとされた。
そのため村でも平成13年より講演会を開催し、村民に広く法制度を理解していただくと共に、参画フォーラムの会員16名を住民の代表として活動が開始された。
その中で17年にフォーラム通信「風」を創刊しており、21年からは全戸配布となった。そして26年9月に「男女共同参画推進の会」が設立されており、村としても会からの意見を伺いながら共同参画形成の促進に努めていく。



フォーラム通信「風」

議員
平成13年以降、地道に活動してきた方々が26年に「男女共同参画推進の会」を立ち上げたが、未だ有志による任意団体であり、運営や視察研修などは自費で賄われている。
村は推進のための基本条例も制定しておらず、活動団体に対しても協力体制が整っていない。今後どう対処していくのか。

村長
大衡村において、男女共同参画の社会というものは、ある程度構築されていると認識している。
今後は条例を制定し体制を整えながら、活動しやすい形にするのが最善であると思っている。

委員会視察 研修報告

視察年月日：平成28年7月12日～14日

視察年月日：平成28年7月6日～8日

おひひろ 北海道帯広市 帯広慈光学園

障害者の福祉施設

○施設の概要

社会福祉法人真宗協会の知的障害者支援施設として平成3年に開所された。平成10年に現在の名称に改称。

施設入所	50名
1人部屋	20室
2人部屋	15室
生活介護	60名
職員総数	38名

○利用者の個性に応じた支援

利用者の障害特性や個性、ライフスタイルに応じた作業を小グループ編成で提供。

- ・椎茸栽培や畑作等の屋外作業
- ・リネン作業や清掃等の屋内作業
- ・災害用ビスケット製造、中古タイヤチェック
- ・工賃は月額3,000円程度



*大衡村に設置予定の多機能型障害者福祉施設に期待される役割は大きく、今回の視察の内容を参考にしたい。

予防医療と出生率向上

○村の概要

人口約3,300人、面積176.7km²、畑作と畜産が主体の純農村。

○予防医療と出生率向上策

- ・総合検診の参加率60%超
- ・保健・医療・福祉総合施設「福祉の里総合センター」を整備
- ・脳ドックの個人負担1万円
- ・出生率1.60人(全国1.38人、大衡村1.45人)
- ・子育て支援課を立ち上げ、独自の支援を実施
- ・不妊治療や母子健康事業の充実
- ・出産・入学祝金(村内で使える商品券配布)
- ・農村公園に健康遊具を整備

北海道 更別村



*住民一人ひとりの健康への意識の高さが、総合検診などの受診率の高さ、病気の早期発見・治療、ひいては医療費削減につながっていると感じた。

演習場対策

○施設の概要

静岡県裾野市・御殿場市・小山町の2市1町にまたがる約8,800haの規模を持つ本州最大の演習場。演習場内は国有地だけでなく民・公有地を国が賃貸借契約をしており、地元権利者の入会慣行権が認められている。

今回の研修では、普通科、特科学校、特車教育隊の3つの学校を統合し開校した陸上自衛隊富士学校の見学も併せて実施した。

静岡県 東富士演習場



安心できるまちづくり

静岡県 裾野市

○市の概要

人口約5万3千人、面積138.1km²、気候は温暖で交通の便もよい産業集積地。

○演習場対策について

- 防災と環境保全
- 国から調整池などの管理委託を受けている住民の理解・対応
- 住民・学識経験者による対策委員会の設置
- 米軍移転訓練への対応・対策
- 使用協定運用委員会で協議、無線等で広報
- 住宅防音工事
- 1,093棟が実施済み、区域拡大に向けて測定施設を増設、測定作業は防衛局が実施



○災害時の企業との連携

市内企業4社(トヨタ自動車、トヨタ自動車東日本、三菱アルミニウム、ヤクルト本社)と災害支援協定を締結している。具体的な支援策は表のとおり。

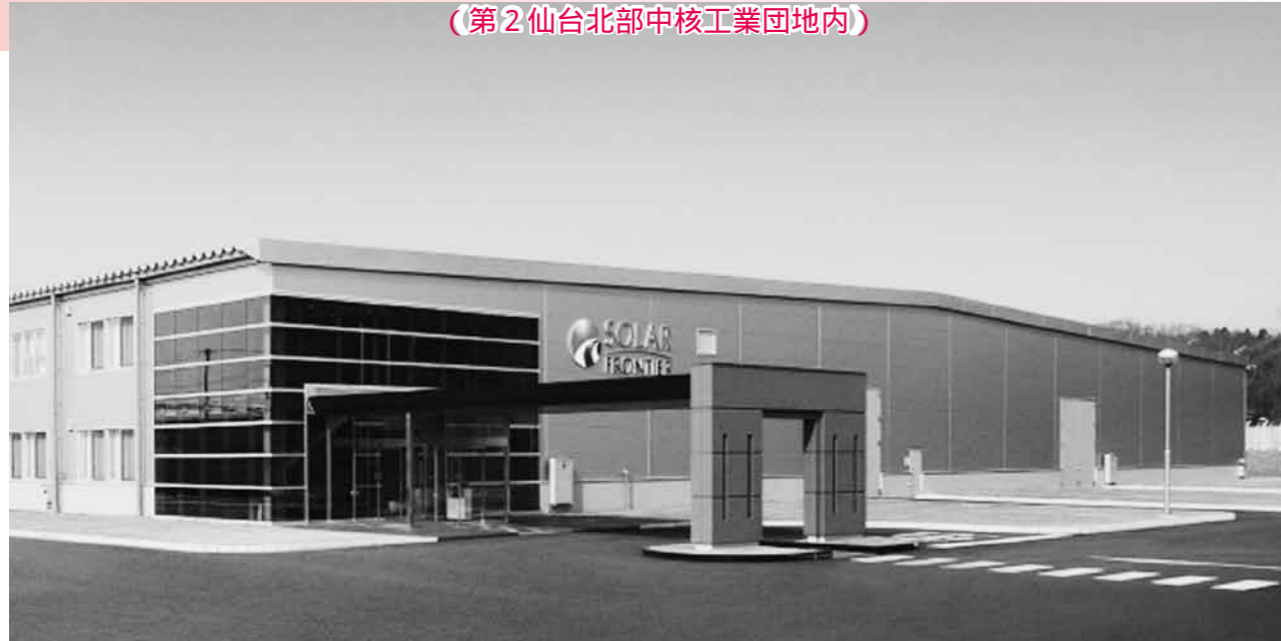
	救援 救護	避難 施設	食糧 飲料	荷役 支援	復旧工 事用地 提供	復旧活 動への 参画	応急 給水
トヨタ	○	○	○	○	○	○	
トヨタ東日本	○		○	○		○	
三菱アルミ	○	○	○	○		○	
ヤクルト	○		○			○	○

*演習場の周辺に位置し、企業誘致が進んでいるという大衡村に近い条件の市だった。裾野市の演習場対策にならない、国に対策の要望を続けていくべきと考える。

調査年月日：平成28年8月19日

調査年月日：平成28年8月8日

ソーラーフロンティア株式会社東北工場視察
(第2仙台北部中核工業団地内)



業務の内容

CIS薄膜太陽電池の研究開発、生産、販売、同製品を使った発電システムの販売、遂行、発電事業の運営、保守サービス
大衡工場では旧来1枚あたり24時間かかっていた太陽電池製造を8時間まで短縮する工程を確立した

CIS薄膜太陽電池とは

主成分に銅(Copper)、インジウム(Indium)、セレン(Selenium)を使用、高温や衝撃、影に強く、太陽光を浴びるほど発電効率があがる性質を持つ

その他の所管事務調査

鳥獣被害対策実施隊の創設

イノシシ等への対策として10月に設置予定
隊員数は20人ほどの見込み

公園施設長寿命化計画

万葉クリエートパーク内施設の長寿命化対象はスイングネット、つり橋等
事業費1,000万円(国庫補助500万円)

平成28年度水田生産調整(8/17現在)

項目	面積	備考
生産調整目標	438ha	転作率40.70%
転作確認面積	480ha	備蓄米面積13ha
比較	55ha	達成率112.64%

ため池事故防止看板設置

公有地41ヶ所、民有地48ヶ所(予定含む)

バイオスタウン構想
(BDF給油)



平成27年度の
取り組み実績
生ごみ分別収集
(衡中東地区):
収集量 6,407kg
廃食用油回収:
回収量 1,453

廃油を利用して走るバイオディーゼルカー

その他の所管事務調査

平成27年度各種会計決算概要

会計別	収入済額	支出済額	翌年度繰越額
一般会計	45億8,753万円	43億3,869万円	1億6,884万円
特別会計			
国民健康保険	6億3,542万円	5億9,942万円	1,299万円
下水道	2億8,604万円	2億7,845万円	759万円
介護保険	5億2,105万円	4億9,458万円	2,647万円
戸別合併処理浄化槽	4,535万円	4,383万円	152万円
後期高齢者医療	4,728万円	4,653万円	75万円
宅地造成	1億9,080万円	1億8,516万円	564万円

財政健全化判断率

	実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
早期健全化基準値	15.00	20.00	350.00
財政再生基準値	20.00	30.00	
大衡村の状況		9.50	

大衡村はいずれも基準値以下(健全)である

みなさんの声を 聴かせてください

住民と議会との懇談会

議会の活動を村民に報告し、議会や村政に対する村民の意見・要望等を直接聴取し議会活動に反映させるため、住民と議会との懇談会を開催します。

スケジュールは下記のとおりです。是非、ご参加ください。
懇談会の内容は、次回の議会だよりで報告します。



行政区長会と 議会との懇談会

広報広聴
常任委員会

開催年月日：平成28年8月10日



懇談会日程

開催時間は全て午後7時～8時30分までの予定です

開催月日	班名	開催会場	開催月日	班名	開催会場
11月17日 (木)	1班	駒場集会所	11月21日 (月)	1班	衡上集会所
	2班	衡中集会所		2班	大森集会所
	3班	衡中東集会所		3班	奥田集会所
		4班		ときわ台集会所	
11月18日 (金)	1班	衡中北集会所	11月22日 (火)	2班	松原集会所
	2班	衡下集会所		3班	蕨崎集会所
	3班	大瓜上集会所		4班	衡東集会所
	4班	大瓜下集会所			

議員班編成

第1班

- ・細川 運一
- ・遠藤 昌一
- ・文屋 裕男
- ・佐藤 貢

第2班

- ・小川ひろみ
- ・高橋 浩之
- ・齋藤 一郎
- ・石川 敏

第3班

- ・佐々木金彌
- ・細川 幸郎
- ・佐々木春樹

第4班

- ・山路 澄雄
- ・小川 宗寿
- ・早坂 豊弘

懇談会の目的と内容

村の現状における問題点について、区長と議員がお互いに意見交換することで、情報の共有と今後の村づくりを推進していくことを目的に開催した。
4つのテーマを選別し、意見交換を行った。

懇談会で交わされた主な意見

1. 道路・河川愛護について

- ・地区住民の高齢化が進み、作業の安全が確保できなくなってきた。
- ・非農家世帯が増加しており、草刈り機が数台しかない地区がある。

2. 自主防災組織について

- ・例年の防災訓練において、指揮系統が不明確だと思われる。
- ・高齢者や自主避難が困難な人に対応したマニュアルが必要ではないか。

3. ため池等の地区内危険箇所の把握と概況について

- ・7月の水難事故を受けて、緊急対策としての看板設置は良かった。
- ・看板をもっとしっかりしたものにしてほしかった。

4. 行政区毎の地域づくりについて

- ・各行政区で開催される行事に、いかに行政区の住民を巻き込むかが課題。
- ・若者と一緒に地域づくりを考える機会を設けることが大切。

懇談会の意見を受けて

村への意見・要望については、執行部に対して報告するとともに、懇談会で明らかとなった課題の解決に向け、議会として検討していく。

